

ターニングポイント

9月27日（火）・28日（水）に行われる福島支部中体連新人大会が近づいてきました。それぞれの運動部では、2年生を中心に、一段と練習に熱が入ってきたのではないのでしょうか。

私の経験なので、だいぶ昔のことになります。中学1年生で出場した支部新人大会は勝てませんでした。あの頃は、自分の力というかレベルがわかかってはいませんでした。団体戦も個人戦も出場しましたが、思ったよりも勝てませんでした。考えが甘かったようです。

1年が経過し、中学2年生の支部新人大会を迎えました。このときは、大会に出ること、試合をすることが目標ではなく、上を目指していました。練習試合の結果などから、マークすべき学校や選手も頭に入れてありました。

練習試合では負けましたが、本番の新人大会では負けないように作戦も考えました。練習試合では、どうしても速いボールが打ちたくて、相手を攻めていくのですが、ボールに威力（いりよく）がなく、通用しませんでした。

そこで、本番の試合では、180度作戦を変更し、コントロール重視の粘（ねば）るテニスをすることにしました。ソフトテニスは、決められたスペースにボールを入れる競技です。相手より先にミスをしなければ勝つ可能性が高くなります。精神的な強さが求められる地味な作戦です。

本人としては、満足はしていませんが、本番の大会では勝つことが重要です。自分が考えた作戦をやり通した結果、個人戦では優勝できました。団体戦も優勝しました。あまり先のことは考えずに、1試合1試合、相手に合わせて作戦を考え、集中していたのがよかったのかもしれない。無欲の勝利とは言いませんが、それに近かったのかもしれない。

支部新人大会での優勝は、その後の人生に大きな影響を及ぼしました。ソフトテニスでは、ある程度はやれるという自信をもつことができました。もともと部活大好き中学生だった私は、ますます部活動にのめりこんでいきました。

今、思い返しても、支部新人大会がターニングポイントだったと思います。スポーツをやっていると、自分にとって節目（ふしめ）となるような試合に巡り合うことがあります。振り返ったときに、あの大会でのあの試合と言えるような存在です。

今回の福島支部中体連新人大会が、出場する皆さんにとって、ターニングポイントとなることを願っています。

* ターニングポイント 変わり目。分岐点。転機。